

去る6月23日(土)に開催された「平成19年度同窓会総会及び懇親会」には100名近い会員にご出席をいただき心より感謝しております。

このところ同窓会への関心が薄れ、総会、新春の集いなどへの参加人数が低迷してきているのが現状です。特に若い卒業生にもっとたくさん参加してもら



同窓会長 寺田一彦(高11回)

同窓会の活性化を目指して

うため、今できることから改善し「西高100周年」へ向けて新たに同窓会を活性化して行くためアクションを起こそうと考えています。

一、評議員の見直し

現在、評議員は各年次の代表として同窓会の会務の浸透を語る役目をお願いしている。しかし卒業時に互選した評議員がその後一度も交代する事無く今日まで来ている年次も少なくない。仕事やプライベートで浜松を離れてしまっている評議員もあればと伺っている中で、アンケートを取って評議員の再選を各学年にお願いした。

二、同窓会事務局の設置

同窓会資料室の一面に事務局を置き、週3日半日程度のパート事務員を雇う。現在西高の先生にお願いしている同窓会事務

三、同窓会報の全員送付

二年前より経費節約のため希望者のみ送付していたが、会報が届くと「西高の卒業生だと認識する」という声も聞こえ、同窓会を活性化したいという趣旨からも、原点に戻し終身会員には再度全員に送付する。

大勢の同窓会員がイベントに参加し、異業種間コミュニケーションを取り、同窓会活動がより活発になるような様々な提案をし、実行していきたいと思えます。会員の皆様にも積極的にご意見をいただき、改革案を受け入れる方向で、ご理解、ご協力をお願いします。

(総会記事はP2に掲載)



発行
静岡県立浜松西高等学校同窓会
発行人
寺田一彦
題字
町田晃
編集
同窓会報編集委員会
浜松市中区西伊場町3番1号
電話 053-454-4471(代)
印刷
勉強屋印刷(株)
発行部数 16,800
浜二中卒業生 2,041名
浜西高卒業生 22,544名
(内女子4,501名)
内18年度卒業生201名(82名)

お知らせ

平成17年、18年と希望者のみに郵送させていただいた同窓会報ですが、送付システムの周知は難しく、未だに届かない等お問い合わせをいただいております。48号で「アンケートはがきでの送付希望の返信がない場合、今後会報は送られませんのでご注意ください。」とお知らせしましたが、今回再度終身会員全員に送付させていただくことといたしました。

評議員や同窓会事務の見直し他、同窓会活動を活発にしていこうという動きの中で、会報送付を希望するお気持ちがありながらお手元に届かない方がいらっしゃるの、アンケートの取り方にも問題があったと考え、今後は送付を希望されない方にお申し出いただくことにいたしました。どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

同窓会ホームページには会報のPDF版を掲載し、さらに詳しい内容や即時的な情報もご覧いただけます。できるだけHPをご覧ください、会報の送付がご不要の方は、下記いずれかの方法で、卒業回数とお名前をご連絡ください。

浜松西高同窓会事務局宛

- 電話 053-454-4471 (代)
- ファクス 053-454-2574
- 郵便 〒430-8038

静岡県浜松市中区西伊場町3番1号

同窓会報編集委員会宛

- E-mail kaiho@hamanishi.org

同窓会ホームページURL

<http://www.hamanishi.org>

平成十九年度総会報告

平成19年度同窓会総会が、6月23日(土)17時よりホテルコンコルド浜松にて開催された。同窓生約100名が参加し、議事を討議、承認した。

寺田会長より、同窓会活性化のための三つの提案が発表され、評議員からも質問や意見が活発に交換された。(活性化のための提案については、会報1ページをご覧ください。)



寺田会長のあいさつ



浅羽校長からは、同窓会からの支援、協力に感謝の言葉をいただくとともに、学校としても、同窓会の活性化、事務局の設置に関して、協力は惜しまないと話された。

また現在の母校について、「中等部の一期生が高校3年生に進級し進路を決める時期になっている。生徒、職員ともに懸命に取り組んでいる」とのことであった。

続いて、部活の結果や、現役生の活躍についての報告があった。



本年の議題

1. 平成18年度事業報告及び決算承認(監査報告)
2. 平成18年度「新春の集い」の事業報告と決算報告(会計監査)
3. 平成19年度事業計画及び予算についてそれぞれ承認を受けた。

その他

○平成19年度評議員の依属
昨年度に実施された見直しの結果選出された新評議員を委託する事を承認した。

評議員が欠員となっている学年には、評議員の人選をお願いすることが要望された。

○同窓会館の事務局設置
同窓会の事務はどんな内容か？セキユリティーは大丈夫か？同窓会の事務処理を学校まかせにしている現状を脱却し、みずから管理する時期ではないか。西高同窓会たるもの、卒業生が集まれるサロンを持つても当然の組織である。

などの意見が出されたが、討議の結果、事務局を同窓会館内に設ける事、資料室の改装の提案が了承された。

○同窓会報の全員送付
第49号より希望者のみに発送していたが今年度は終身会員全員への送付が了承された。

最後に高40回の浜川正宏さんより「2008年新春の集い」の案内があり、「チケットの販売、広告への皆様のご協力をお願い

します」と発表があった。

同窓会今後のスケジュール
会報の発行 8月1日
慰霊祭・役員会 11月17日
講演会(中村勲氏) 11月20日
新春の集い

平成20年1月2日
同窓会入会式・西山賞授与式
2月28日

懇親会

本年度は例年8月に行われていた役員懇親会を懇親会と改め、総会に引き続き開催した。年間に行われている役員会他各会合の回数を減らして、それぞれにより多くの方々にご出席いただきたいとの試みである。

昨年度実施された評議員の見



川島相談役の音頭で乾杯！



直しにより、新しく評議員となった同窓生との顔合わせの場とすると共に、学年を越えた交流と情報収集の機会としていただきたいとの趣旨であったが、予測を上回る、総会出席者100名の名ほとんどが懇親会にも参加し、交友を深めた。

川島相談役の音頭で乾杯の後、自由な席に座り、食事は好きな物を取りに行くバイキング形式で進められた。

総会では発言し難かった意見や、個人的なお知らせ・現状報告、また久しぶりに総会と懇親会に参加しての感想などの発言もあり、総会の真剣な雰囲気とは一転、世代を越えた賑やかで楽しい歓談となった。

席上、去る6月8・9日に行われた西高の文化祭「彩西祭」の様子がスライドで紹介され、現在の母校の風景を興味深く楽しんだ。





懇親会風景



同窓会の盛り上げ世代！

来年もこの貫禄で、お元気で！



▲対局前

▼対戦中（右が山田氏）



女性参加者、貴重です。



山田 洋次（高48回理）
アマチュア名人戦は60年と歴史も古く、将棋愛好者なら誰もが憧れる棋戦です。
その棋戦で優勝でき、アマ名人になったのは30代になってから。頭脳を使う世界では最盛期は20代半ばという常識があったので、全国タイトルにはもう縁が無いと思っていた所でした。結果がついてこない時もありましたが、腐らずに努力をしてい

平成18年8月28日に行われた第60回全日本アマチュア将棋名人戦全国大会で山田洋次氏が優勝した。この大会では30年前の第30回で、同じく西高出身の芝穂氏（高18回）が優勝している。

快挙！ 西高同窓から二人目の将棋アマ名人

た事が実を結びました。自分の好きな言葉は『セレンディピティ』です。運命というのは努力した人に偶然という橋をかけたくて、幸運を見つけ出すという意味です。今回は幸運を掴めました。

将棋を始めたきっかけは、小学校二年生のときに兄が友人から将棋のルールを教わった後、家で指す相手がいないので対戦相手が欲しくてルールを覚えてくれました。自分が勝つようになつたら指してくれなくなつたのですが、それが運命的な出会いでした。小学校の時は親戚にちようど将棋好きな叔父がいたので、その人と指していました。

高校の思い出は、一年生の時に全国高校選手権の県代表になったことです。全国大会では2回戦で強豪に負けて残念な結果でしたが、その功績を認められて、浜松西高校に将棋部が出来た事が嬉しいのです。高校最後の夏に全国高校竜王戦で優勝して、全校生徒の前で優勝カップを受け取ったのは一番印象に残っています。優勝した後にプロの育成機関である奨励会を受験しようか迷いましたが、将棋は趣味の一つと割り切っていたので、大学進学する事に決めました。

印象に残っている対戦は、現プロの瀬川さんとの対戦です。「サラーマンの挑戦」で年齢制限の壁を破りプロになったのですが、アマチュア時代は十何局当たり、少し勝ち越していました。立場を変え、アマ代表対プロとして対戦しました。結果は負けてしまいましたが収穫はあり、勝負を楽しめました。

現在、リコーに勤務していて、リコー将棋部の主将を務めています。アマ棋界のトップ集団を担う企業チームの主将としての責任感を感じています。部としては強い人ばかりでも無いので、モットーは皆で楽しくを目指して年2回の合宿を行ったりしています。

仕事はシステムエンジニアなのですが、将棋で培った先を読む力や考え方が仕事に役に立つことがあります。システムエンジニアに求められるスキルとして「ロジカル・シンキング」だけでなく「ゼロベース思考」「ヒューマンスキル」の考え方も必要です。「ゼロベース思考」とは、『固定観念にとらわれることなく、さまざまな視点から考える事』です。「ヒューマンスキル」とは、『ロジカル・シンキングやゼロベース思考の結果をお客様に分かりやすく説明する力・ユーザー要望（意図）を汲み取る力』です。今は超一流のSEを目指して日夜仕事に励んでいます。

平成18年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 18,735,470 円
 支出総額 2,950,358 円
 差引残高 15,785,112 円

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰 越 金	15,296,028	15,296,028	0	前年度繰越金
入 会 金	3,015,000	3,015,000	0	高59回卒業生201名
基金利子配分金	1,200	1,200	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	201,532	-798,468	新春の集い剰余金
雑 収 入	2,772	21,710	18,938	預金利子、同窓会名簿代等
記念誌売上金	200,000	200,000	0	「西山台に立つ」販売代金
合 計	19,515,000	18,735,470	-779,530	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
1 事務費	850,000	380,009	469,991	
事務局費	300,000	239,834	60,166	
需 要 費	550,000	140,175	409,825	複写機リース料等
2 会議費	350,000	266,358	83,642	
総 会 費	200,000	129,362	70,638	総会会議費
役員会費	150,000	136,996	13,004	役員会会議費
3 事業費	3,000,000	2,303,991	696,009	
会 報 費	1,500,000	1,109,331	390,669	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費等
助 成 費	1,500,000	1,194,660	305,340	慰霊祭、香料、激励費、献送迎会、海外研修援助費、西山賞、後援会謝礼等
4 予備費	15,315,000	0	15,315,000	
予 備 費	15,315,000	0	15,315,000	
合 計	19,515,000	2,950,358	16,564,642	

平成19年 5 月 8 日

以上のとおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会

会 長 寺 田 一 彦

会 計 田 中 範 雄

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成19年 5 月 8 日 会計監査 前 田 米 藏 ㊞ 会計監査 磯 部 育 夫 ㊞

平成19年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 19,744,000 円
 支出総額 19,744,000 円
 差引残高 0 円

収入の部

(単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	説 明
繰 越 金	15,785,112	15,296,028	489,084	前年度繰越金
入 会 金	2,940,000	3,015,000	-75,000	高60回卒業生(196名)
基金利子配分金	5,900	1,200	4,700	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	新春の集い剰余金
雑 収 入	12,988	2,772	10,216	預金利子、名簿代
記念誌売上金	0	200,000	-200,000	「西山台に立つ」販売代金
合 計	19,744,000	19,515,000	229,000	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	説 明
1 事務費	1,650,000	850,000	800,000	
事務局費	150,000	300,000	-150,000	事務局会議費、事務処理費
需 要 費	1,500,000	550,000	950,000	事務室改修費、複写機リース料他
2 会議費	650,000	350,000	300,000	
総 会 費	500,000	200,000	300,000	総会会議費
役員会費	150,000	150,000	0	役員会会議費
3 事業費	4,700,000	3,000,000	1,700,000	
会 報 費	3,200,000	1,500,000	1,700,000	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費等
助 成 費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、香料、激励費、献送迎会、海外研修援助費、西山賞、後援会謝礼等
4 予備費	12,744,000	15,315,000	-2,571,000	
予 備 費	12,744,000	15,315,000	-2,571,000	
合 計	19,744,000	19,515,000	229,000	

※科目間の流用を認める

西遊帰く時代をリードする孫悟空達の姿く

「新春の集い」

二〇〇七年

「新春の集い」を終えて

代表幹事 岩淵千江(高39回)

去る平成19年1月2日、グラ
ンドホテル浜松での、毎年恒例
「新春の集い」にご参加いた
さありがとうございました。

「ありがとう。楽しかった
よ。」声を掛けていただいた方
のお顔は今でも鮮明に浮かん
できます。

我々39回卒幹事のテーマ「西
遊帰」では世代を超えた大勢の
同窓生たちと西高時代へと遊び
に帰ることができるよう、数々
の趣向を凝らしました。

・歓談の時間を最大限とるべく、
恒例の抽選会は入場時に行う。
・当日は名札を着用し、交流促
進の手助けをする。
・できるだけ多くの皆様に参加
してもらえようチケット代
金を安くする。

・幹事による
西遊記コス
プレおよび
記念撮影。
情熱のフラ
メンコ。



・世代を超えた人物の見える記
念誌を作る……等々
そして、初の試みとなります
〈現役高校生〉である吹奏楽部
をゲストに迎えることで、迫力
ある生演奏での校歌斉唱。皆様
現役時代を思い出されたように
見えました。

実現に当たって
は皆様の温かいご
支援、ご理解、ご
協力あつてのこと
と、心よりお礼申
し上げます。
また、還暦を迎
えられた高17回卒
の皆様の鏡開き、
歌声は力強く熱気
あふれるものでし
た。



2007年 新春の集い 決算書

(単位:円)

収入の部	項目	金額	備考
	広告売上	10,141,055	488社(昨年実績343社)
	チケット売上	4,131,790	690枚(昨年実績798枚)
	雑収入	101,242	当日ご祝儀(¥100,000) 預金利息(¥1,242) 口座開設費(¥1)
	収入合計	14,374,087	

(単位:円)

支出の部	項目	金額	備考
	会場費	7,301,623	当日参加者579名(昨年実績604名)
	景品費	525,710	液晶テレビ、DVDレコーダー、デジタルカメラ他
	印刷費	3,087,196	記念誌、チケット、封筒、チラシ他
	通信費	317,912	葉書、切手、郵送料、通信費等
	会議費	1,082,931	幹事会、部会経費
	事務用品費	99,222	コピー用紙、インクカートリッジ、筆記具等
	交際費	655,314	広告受注、チケット販売経費他
	その他雑費	3,850	振込手数料等
	その他	328,796	サーバーレンタル費、新PC購入費他
	納会費	770,001	口座開設費(¥1)を含む
	次年度準備金	201,532	同窓会へ
	支出合計	14,374,087	

平成19年 3 月 23 日

以上の通りご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

高39回卒 同窓会幹事会

代表幹事 岩淵 千江 (印)
会 計 中村 良弘 (印)

上記の通り正確に処理され適正と認めます。

平成19年 3 月 23 日

会計監査 前田 米藏 (印)
会計監査 磯部 育夫 (印)

記念誌ですが、配布後に多く
の方々からお褒めの言葉をいた
だき、たいへん嬉しく思ってお
ります。学校側のご協力で現役
中高生の皆様にも配布させてい
たできました。後輩たちへ同窓
会という存在を知らしめる一助
となれば幸いです。
思えば、幹事会の活動は常に
「人が集
まらない
の連続で、
簡単なも
のではあ
りません
でした。し
かし、当
日、地元
はもとよ
り遠方か
らもたく
さんの同
期生が駆
けつけて
くれて感
激しまし
た。



活動中に
はたくさん
の出会いも
ありまし
た。皆様に
支えられ、
励まされな
がら無事、
役目を果た
すことがで
きたという
達成感は何
事にも替え
られませ
ん。
現在、後
を引き継い
だ40回卒の
皆さんは更



高17回 鏡開き

に変化のある「新春の集い」を
作っていただくさっているよ
うです。これからも「新春の集
い」が、皆様にとっての一年を
飾るスタートとなる集いとなり
ますようお願いいたします。
最後になりましたが、西高同
窓会の益々のご発展と、同窓生
の皆様
のご健
康を祈
念して
ご報告
とさせ
ていた
だきま
す。



来年度幹事へ引き継ぎ

第6回 浜西フォーラム 相談役に河合九平先生

平成十九年二月十七日、リニューアルオープンしたホテルコンコルド浜松で開催されました。

第一部は浜松信用金庫理事長御室健一郎さん(高16回)の講演を行い、第二部は懇親会で年代を越えた、楽しく有意義なひと時となりました。

御室健一郎さんは「この四月より政令指定都市になる浜松は、山間部が加わり大変広域な都市になり、特色を発揮し、皆で知恵をだして新しい浜松を創造しよう」とお話しされました。



御室健一郎さん 中央

第二部ではオープニングに、宮崎澄さん(高10回)の指揮により、松ボックリと雄踏ハローモニカサークルの皆さんで、『高

校三年生』他数曲を演奏して頂きました。また最後に『荒城の月』の独奏もあり、ハーモニカの素晴らしさに、会場は拍手大喝采に包まれました。

続いて、今年度より相談役としてご就任を頂くこととなった河合九平先生(元浜松市教育委員長)にご挨拶を頂きました。



河合九平先生

今年は各回卒の中より数名ずつ合計一四名が参加。西高同窓生として活発なコミュニケーションを図る事ができました。

(高11回 松山亘男)

高9回学年同窓会

恩師二氏を迎え総勢38名

平成十八年十月十八日、高校第9回卒業の同窓会が、浜松名鉄ホテルにて開催されました。恩師児玉二郎先生、村上清先生ご臨席の下、卒業後五十年経過した歳月を感じさせない有意義な催しでした。

榎吉リーダーの指揮による、校歌、応援歌の斉唱に大いに盛

り上がり、古希を迎える二年後の再会を誓い合い、散会致しました。



(高9回 松山吉男)

高40回学年同窓会

恩師五氏を迎え総勢85名

平成十八年十月八日(日)、グランドホテル浜松にて高40回同窓会を開催致しました。卒業後初めての学年全体同窓会ということもあり、それぞれの高校時代の思い出を胸に、少々緊張

した表情で受付を通る人も多かったのですが、恩師の入場、自己紹介、歓談タイム、と時間が進むにつれ、大いに盛り上がりつつありました。2008年新春の集い代表幹事予定者より、学年の団結を誓う言葉、応援団長によるエール、校歌と続き、話は尽きないまま一次会閉会となりました。

二次会では予想以上の参加ということで予約してあった店は満席、立ったままの人も多数という状況であちこちで思い出話に花が咲きました。



参加人数は、一次会で約八十名、二次会でも約六十名。当時違うクラスで話もしなかった人たちが、十九年の時を経て、気軽に話せる場面があちこちで見られ、思い出話に花が咲いたようです。

(高40回幹事 渡辺/土屋)

高11回学年同窓会 恩師四氏を迎えさむらい会

平成十九年二月三日(土)午後六時より、ホテルコンコルド浜松二階海の間に於いて開催した。今年も恩師四氏を迎え、遠来の者を含め同窓生七十八名の参集を得て、和やかに交流、親睦を深めた。



この会の母体となった集まりは、ゴルフコンペの『なかよしクラブ』である。

その会員の中で同窓会の話が持ち上がり、会の名称も11回卒業という事で「十一」「土」(さむらい)と命名され今日に至っている。

(幹事クラス代表 鈴木健)

第31回 浜松西高同窓ゴルフ大会

優勝は鈴木信弥さん(高28回)

第三十一回浜松西高同窓ゴルフ大会が、平成十九年五月二十二日(火)に浜名湖カントリークラブで開催されました。当日は、朝からすばらしいゴルフ日和の天気となり二一〇名以上の参加により盛大に行われました。

浜名湖カントリークラブのグリーン改修も終了し、お天気にも恵まれ文句のつけようもないすばらしいコンディションの中で参加者全員が、日ごろの練習の成果を思う存分発揮しようと奮闘し、OB同士の親睦を深めることができた一日でした。



優勝した鈴木信弥さん(高28回)

気になる総合優勝は鈴木信弥さん(高28)が潮見43 中47のグロス90 ネット69・6の成績で見事初優勝に輝きました。

総合成績

優勝	鈴木信弥(高28回)
グロス	90 ネット69・6
準優勝	松本清明(高30回)
グロス	82 ネット70・0
三位	山口 斌(高7回)
グロス	86 ネット70・4

ゴルフ場のご尽力で表彰パーティーも早く始めることができました。関係者の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。



表彰パーティー

また、表彰式は、賞品現金等、約三十法人、個人より協賛を頂戴し充実した内容となりました。本当にありがとうございました。

当日はチャリティーを行い多くの方々に協力を賜りました。皆様の善意を携えた幹事代表が六月五日 浜松市役所の鈴木康友市長を訪問し、浜松市市民協働推進基金「はままつ夢基金」への寄付としてチャリティー募金十万円を手渡し市長よりお礼の言葉を頂戴しました。この場

を借りて報告させて戴きます。



チャリティー当選者

お礼のことは

第三十一回浜松西高同窓ゴルフ大会
実行委員会 有志 様

あなたさまには常日ごろ市政発展のうえに御配慮御協力を賜っておりますが、さらにこのたびは心あたまる御厚志をいただきまして誠にありがとうございました。その御厚志に對しまして衷心より厚くお礼申し上げます。

浜松市は市民協働によるまちづくりの推進を図り、市民が主体となって大切なまちを守り育てる環境づくりに努めているところであります。あなたさまの御厚志にお報いすることができそうです。今後とも格段の努力をいたしたいと存じております。ここに深く敬意と感謝を申し上げます。

平成十九年六月五日

浜松市長 鈴木 康友

浜松市から戴いた感謝状

今回の浜松西高同窓ゴルフ大会は前回から六ヶ月の準備期間しかなく、なにかと至らぬ点もあつたかと思いますが皆様のお力添えにより何とか無事と行うことができました。各学年同窓会幹事の皆様、浜名湖CCCのご担当者の皆様、ご協賛を頂戴した企業、個人の皆様、ほか関

係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。新春の集いに次いでこのような大人数で親睦を深めることができる恒例行事となったこの同窓ゴルフ大会、今後ともさらに発展することを願ってやみません。



幹事代表挨拶

(幹事 高28回一同)

対浜松北高OB定期戦

野球は雨天のため中止

サッカー

創部六十周年記念式典と

第三十二回対浜松北高定期戦

平成十八年度、サッカー部は創部六十周年を迎えた。八月五日には浜松名鉄ホテルで創部六十周年記念式典が開かれ、多くのOBや現役生徒、元顧問や父母会関係者が集まり、県西部サッカー関係者をお招きして、盛大な式典が行われた。

翌六日には創部六十周年記念試合及び第三十二回浜松西高校・浜松北高校サッカー定期戦が遠州灘海浜公園球技場で行われた。定期戦では若手OB、中堅OBの活躍もあり、浜松西高校が勝利を収め、通算成績を浜松西高校の十六勝十四敗二分とした。

記念試合では高等部現役生が浜松湖東高校と戦い、中等部現役生が丸塚中学と戦った。高等部は残念ながら敗戦となったが、中等部は見事な勝利を収めた。その他、チャイルドサッカー、怪童クラブと浜西OBの試合も行われ、全員がサッカーの素晴らしさと楽しさを実感した一日であった。定期戦は、毎年八月第一日曜日に行われており、来年度以降も多くのOBの参加をお願いしたい。

第三十二回定期戦結果

現役戦	浜西 1-1	浜北
50歳以上戦	浜西 0-0	浜北
35歳以上戦	浜西 2-0	浜北
若手OB戦	浜西 7-0	浜北
混合戦	浜西 8-2	浜北
通算	浜西 16勝14敗2分	

創部六十周年記念試合

高等部	浜西 2-4	湖東
中等部	浜西 4-1	丸塚
OB戦	浜西 4-0	怪童C
(サッカー部顧問		
高29回大瀬裕市)		

叙勲の人

平成十九年春の叙勲

瑞宝双光章 猪俣 正孝(高7回)
瑞宝双光章 佐原 晃久(高7回)

瑞宝双光章

猪俣 正孝(高7回)



はからずも平成十九年五月十日(木)法務省にて勲記・勲章の伝達を受け、引き続き皇居春秋の間に於いて、天皇陛下に拝謁の栄を賜りまして感激の極みでございました。家に帰って早速両親の仏前に報告いたしました。気のせいかわれ親の写真が「ニコッ」と笑ったように見えました。小学校四年生の時母を亡くし、四年後の中学二年の時、父が他界いたしました。何の親孝行もできなくて、今やつと両親の笑顔の写真を見て、一つ親孝行ができたかなと、思っています。

更生保護に関する仕事は昭和三十年、西高を卒業し、駒沢大学に入学し、静陵会(静岡県人会)主催の夏期伝道(子供会、幼稚園、小学校、施設訪問等)以来行つて約五十年にもなろうとしています。

昭和三十四年十一月より六年間、曹洞宗南米ブラジル開教師(キリスト教宣教師に当たる)としてサンパウロ市南米別院仏心寺に勤務し、禅や日本文化を布教。帰国後、昭和四十二年九月より高林寺住職を拝命し、その傍ら、民生児童委員、保護司等の仕事にも関わらせて戴き、現在県保護司会連合会の会長を務めさせて戴いております。

浜松の「やらまいか精神」は西高時代の思い出、体育祭の仮装行列の時、鴨江の観音様から張子の象を借りてきて、インドの美女に変身したこと(本来は小心者で、はずかしくてとてもできないが)、やらまいか精神が強い力となつて、いつの間にか行動していたのです。ふり返ってみると、郷土の大先輩、金原明善翁の更生保護、改善の精神を受け継いでこられたのも、原点は我が母校西山台にあると思つています。冬の寒い北風にも負けない強い身体と心を鍛えてくれた西山台のお陰です。この時代に育つた生徒はみんな「やらまいか精神」を持っています。

その一人に同級生で偉大な大学野球日本一監督の太田誠君がいます。今後も「平常心は道」で、ごく普通の道を進んで行きたいと思ひます。

厚生労働大臣表彰

松下一裕(高26回)

平成18年度全国社会福祉大会にて、全国で127名が表彰を受けた。

松下氏は、大学卒業後一貫して、浜松市の障害者福祉行政に従事。自らも疾病のため8年前から車椅子使用し、政令指定都市浜松の障害者福祉の一翼をになつてゐる。

「28年間、障害福祉行政に従事してきました。この間障害者に対する社会的環境の良い変化を感じています。そのきっかけのひとつが早稲田大の後輩である乙武君のマスコミへの登場であると思ひます。障害を持つ方(身体、知的、精神)も自由に外出できる街の実現に微力ながら関わつていきます。」と語る。

■浜松やらまいか大使に委嘱される

太田 誠さん(高7回)

■市勢功労者として表彰される

猪俣正孝さん(高7回)

■平成18年秋の褒章

統計調査功績により

藍綬褒章を受章

後藤 茂さん(高15回)

業務精励により

黄綬褒章を受章

伊藤 孝さん(高19回)

随筆

「西山魂」と「やらまいか大使」

河合九平(旧中19回)



母校浜西は、いよいよ中高一貫教育の一期生を来春に送りだす。画期的な新制度だけにその成果が目まぐるしく見えている。

思うに、創立八十年余の歴史を一貫してきた精神は、端的に校訓の示す「高い知性(知)」「豊かな心(仁)」「たくましい力(勇)」の統合された、いわゆる「西山魂」とまとめることができる。

それは、大洋と芙蓉峰を望み、時に空つ風にさらされる「西山台」という自然環境のもと、「文武両道」による「若き紳士」の育成という建学精神により、約二万五千人の若者が、己がじしその青春を燃やして掴みとった「生きるエネルギー」そのものであった。

特に、西山台の目指した学びとは、平易にいえば「五感・五

体による体験的学習の徹底」ということであつたらう。つまり、豊かな感性が高い知性を生み、さらに旺盛な実践力に発展するという感性・感動を重視した学びで、これは脳の仕組みから見ても当然な学習観といえる。

こうして身についた真の学力は、単なる知識技量をこえ、自分の人生を生き抜く力(知恵・エネルギー)として生涯の糧となり得るまさに、「西山魂」というにふさわしいものである。

「はままつの教育」は「知・徳・体」の調和的人間像として「健やかな子」を掲げている。その「健やかさ」が、さらに深められて「強(した)たかさ」にまでなつたのが「やらまいか根性」ではないだろうか？

強靱な精神力と不撓不屈な実践力が「西山魂」や「健全児」の真髓と自負し、さらに共同性の加わつた「やらまいか根性」に誇りを持つとき、「体が魚になるまで泳げ」と「泳心一路」の古橋廣之進氏(旧中18卒)と

「体が球になるまで追いかける」と「球心未握」の太田誠氏(高7卒)との二人が「やらまいか大使」として活躍されることは、新政令市浜松と母校浜西の発展にとつてまことに喜ばしく、市・学校における得がたい金字塔となりましよう。

(12代校長・元浜松市教育長・現浜名湾游泳協会会長)

ギャラリー

日本画家

山下邦雄氏 (高7回)

校舎二階理科室の隣に掛けられているのが、日本画家山下氏の作品『道』である。高35回の卒業記念に学校に贈られたものであるが、穏やかな色使いが今も生徒たちの心を癒してくれている。

山下氏は、昭和36年日展初入選。以後毎年出品し、入選は30回を数える。

平成元年には『馬』で第21回日展の特選を受賞し、平成17年



『道』

作者の言葉

風花の舞う碓氷峠へ旅行したときの印象をもとにその思い出を心象的に表現した。

母校にお立ち寄りの際にはぜひご覧いただきたい。



山下邦雄氏

現在埼玉県さいたま市に在住。
自宅で児童画と、大人の日本画教室を開催している。
日本美術家連盟会員
日展会友
埼玉県展審査員



『チベット仏教を舞う』150号

『馬』150号
ヤマハリゾートつま恋 蔵

第37回日展において『チベット仏教を舞う』で二度目の特選を受賞された。日展で二回特選を受賞すると無鑑査になり、それ以降は審査されずに、毎年自由に出品することができるとなっている。

受賞について山下氏は、「前回の特選受賞作も仏教(釈迦)に関連していましたが今回も馬とチベット密教を題材としています。平成17年3月にフランスから来日、公演を行ったZINGARO・ジンガロを見ての感動を表現したものです。」

円形テントの中に繰り広げられる生の喜びと死の恐れを旗になびかせて

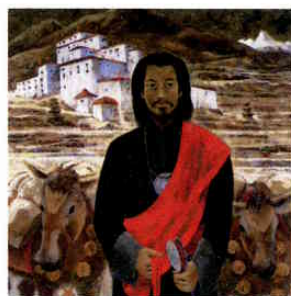
走り回る人と馬。人馬一体となつて、種を超える生命の響き合いとでも言うべき舞台に魅了され、また、背景に流れるチベット密教の声明、お香などにより醸し出される小宇宙、異空間の雰囲気を与えたかった。今後はより一層精進して納得の行く作品を制作して行きたいものと思っています。」と語っている。

山下氏の作品収蔵案内

西堀栄三郎記念 探検の殿堂

(滋賀県東近江市)

二階・探検家の殿堂には、西堀栄三郎、白瀬轟、間宮林蔵、伊能忠敬、ジョン万次郎、植村直己等49人の探検家を、第一線で活躍する49人の日本画家が描いた肖像画が展示されている。その中の、モンゴル、チベットを探索した西川一三氏を、山下氏が描いている。

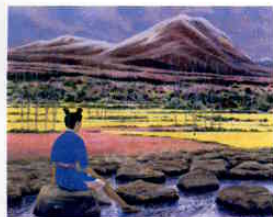


『西川一三像』

奈良県立万葉文化館

(奈良県高市郡明日香村)

万葉集の歌に題材をとった一五四点の日本画が収集されている。山下氏の作品は『信濃の春』『信濃なる千曲の川の細石も君し踏みてば玉と拾わむ』が収められている。



『信濃の春』

募集

■会報の編集をお手伝いくださる方

例年8月1日の発行に向け4月から月1〜2回程度、同窓会館資料室にて作業を行っていただきます。

企画、取材、執筆、写真撮影、レイアウト、デザイン等の作業を行なっています。

■ホームページ作成をお手伝いくださる方

①レンタルサーバーの管理

②写真の修整トリミング

③HTMLの制作

④データ管理

・・・など、得意な分野だけのお手伝いでも結構です。

■「活躍する同窓生」「新刊紹介」「お知らせ」他、会報及びホームページの各コーナーに掲載する情報をお寄せください。

■学年同窓会を開催される幹事の方はホームページの「お知らせ」のページをご利用ください。開催後報告記事をお寄せいただければ、「同期会」のページに掲載します。

いずれも連絡先は

浜松西高同窓会

〒432-8038

静岡県浜松市中区西伊場町

3番1号

※各学年評議員または

kaiho@hamanishi.org まで

理想を求めて、立志館での教育

大石健次(高9回)

38年間の教員生活を終え、若いころから夢見てきた理想の人間道場「立志館」を平成12年4月にスタートさせました。不登校の子どもを救うための支援施設です。

昼間は、さまざまな理由で登校できない子どもたちが集まり自分で決めた学習をしながら人生の目標探しをしています。夕方から夜は、学校から帰宅した小・中学生が集まって学習しています。立志館では、子どもたちの自主性を尊重しています。各人が、本を読んだり、パソコンで調べたり勉強を教え合ったり、先生に教えてもらったりと自分のペースで学習しています。

立志館の教育が目指すものは人生の志を立てることにありますが、そのために、いのちの尊さを自覚させ、いのちへの使命感を感じさせることが大切と考えています。ひとつしかないいのちを大切に、一度しかない人生を自分らしく輝かせてほしいからです。

不登校の原因はさまざまですが、人間関係のトラブル、長期の病欠欠席、遊びの誘惑、社会性の著しい欠如等々がキッカケになることが多いようです。不登校に陥っている子どもに登校を促すことは必ずしも望ましい

ことではありませんが、しかしほとんどの親は、「なんとか登校してほしい、社会人として自立してほしい」と祈っていると思うんですよ。この親の祈りを受け止めて、立志館は在籍校との連絡を深め、学校生活に復帰できるように支援しています。

立志館を開設した最も大きな理由は、九十九人への教育を充実させることに全力投球しながら最も指導・援助を必要としている一人への指導をほとんどしなかったことへの苦しい悔いの気持ちにありました。「一人を救えずしてどうして百人を救えようか」という思いが、極めて非効率な教育へと駆り立てたのだと思います。この4月には立志館で義務教育を終えた中学生6人が高等学校へ進学しました。が高校生活をエンジョイしているという便りを聞き、本当に嬉しく思っています。新年度も、10人の中学生と理想を追いかけ



私がまだ20代の頃、恩師の導きにより、著名な哲学者と話をさせていた機会を得ました。「人間の主体性とはなにか？」が中心の話題でした。私は「思想である」と主張しました。その老哲学者は「君は若いねえ」と笑われながら「主体性は腰骨を立てることだ」と主張され、最後まで平行線でした。人間が人間らしく生きていくためには人間の生活の形を保つことが大切だと学びました。

朝になつたら起き、朝食を食べ、目的をもって外出し、夜になればぐすり眠るという基本の形をとりもどすことが、不登校の子にとってまず大切だと思います。また、一日に30人くらいの人の顔を見ることが精神の安定に欠かせないと言われます。みんなでレストランへ食事に出掛けたり、バスや電車で通うことを勧めたりしているのはそのためです。

高度経済成長期に代表される戦後の教育においては、子どもたちの学ぶ意欲の源泉を競争意識に求めました。その結果、生活は便利になり豊かになりましたが、自己中心的な価値観が蔓延したことはとても残念です。残された日々、人の幸せに役立つことに喜びを感じる人間を育てるという教育の理想に情熱を傾けたいと思っています。

(平成19年5月9日
インタビューに応じて)

2008年 新春の集い



日時：2008年1月2日(水)
午後2:30開場/午後3:00開演
会場：グラントホテル浜松
会費：¥8,000
主催：浜松西高等学校同窓会
運営：浜松西高第40回卒業
2008年新春の集い「A」ホームページ
http://www.hamanishi.org/2008/
お問い合わせ
浜松西高2008年新春の集い事務局事務局
(内線) 438-0005 郵便番号 434-1
TEL 0538-38-4680 FAX 0538-38-4681
E-mail: tsug1996@yahoo.co.jp



二〇〇八年新春の集いは、「新春だよ全員集合 宿題やったか？」をテーマに、一月二日に開催致します。

西高同窓生が、毎年この「新春の集い」に参加できるように、また、様々な方面で活躍する西高同窓生の集いになることを期待して、このテーマと致しました。そして、西高同窓生である私たちは、一体何が出来るのか、何をしていきたいのか、どうしていくべきなのか、「私たちに与えられた宿題は何ですか？」の思いを込めて、サブテーマとさせて頂きました。

全員集合ということで、ゲストには、ものまねで活躍している斉藤ルミ子さん、テレサ・チエンさん、浜北飛竜太鼓の皆様をお招き致します。

そして、昨年同様、西高吹奏楽部も演奏して下さいます。

皆さんが一堂に集まり、懐かしみ、楽しみ、そして……考える場となれば、幸いに思います。皆様のご参加を、心より御待ちしております。

二〇〇八年 新春の集い

日時

平成20年1月2日(水)

午後3時から

会場

グラントホテル浜松

会費

8,000円

主催

同窓会長 寺田 一彦

当番幹事 高40回卒業生

代表幹事 浜川 正宏

事務局連絡先 渡辺 敏安

〒438-0005

磐田市句坂上344-1

TEL 0538(38)4680

FAX 0538(38)4681

街かど抗がん剤治療を目指して

渡辺 亨(高26回)

今、外来での抗がん剤治療やがんのセカンドオピニオンをやっています。祖父の代からの内科医院で、生まれ育った土地なので帰って来たいと思っています。

日本人が年間100万人亡くなるうちの35万人はがんで死ぬんです。死因のトップです。しかしがん医療、とりわけ抗がん剤治療の専門家というのはきわめて少ないので大都会に集中してしまうのです。

国立がんセンターを例にとれば九州から患者さんが来るとき、前日から来て一泊、当日何時間もの待ち時間を過ごし、診察、抗がん剤治療を済ませ、その日また一泊、翌日に九州に帰る、二泊三日もかかってしまうのが当たり前になっているんです。



私は仕々の交番やコンビニのように抗がん剤治療が出来るような所が必要だろうと2005年にこのオンコロジーセンターを設立したわけです。これからこのような拠点を増やしていくたらしと思っています。相談者は全国からみえますが、実際に抗がん剤治療を受けているのは近くの人です。午前中仕事をしたら抗がん剤の点滴を受けて、半日休んで翌日また仕事をしたり、家事をしながら治療を受けたりできるのが大きなメリットだと思います。

今は腫瘍内科医が少ないので、手術をした外科医が術後も抗がん剤の治療をしています。それは例えば肉屋で魚を売っているようなものです。専門外の事をどうしてもやらなくてはいけない状況なわけです。私は国立がんセンターでは腫瘍内科医の育成・レジデント(臨床実地修得のため研修をする医師)の教育に当たっています。しかし年間5人位を育成するのが精一杯で、まだまだ人手不足です。

現在地元での乳がん治療のカンファレンス(協議)をしています。医療センター・聖隷・医大からも来ます。外科医を含め乳がん治療・化学療法をどう

進めるかというのを決めます。対外的にはインターネットを使つてのTV会議システムで鹿児島、東京の患者さんの団体とボランティアで相談に乗っています。患者さん・一般市民向けの市民講座も引き受けています。スイスのセントガレンの国際シンポジウムにも出席しました。

将来的には人も育て、拠点・拠点をコンビニのように2号店3号店とこのような病院が出来ていくといいですね。

がんの告知はなかなか浸透せず、患者に知られることがないまま薬による治療を選ぶことができない状況があります。抗がん剤というのはそれ程歴史があるわけではなく1960年くらいから発達してきました。日本では抗がん剤治療が非常に立ち遅れています。腫瘍内科医の育成が充分ではありません。

抗がん剤治療には皆さん誤解もあるでしょうが、決して先入観を持たないでください。個人にあわせて薬を合わせていけば吐き気などの副作用はほとんどありません。気軽に立ち寄れるがん診療所が私の目指す姿です。

(談)

渡辺亨氏プロフィール
浜松西高から北海道大学医学部へ。卒業後国立がんセンター勤務。28歳、33歳までテネシー州ナッシュビルのヴァンダービルド大学留学。専門「腫瘍内科」

女神が微笑みますように

柳澤延久(高40回)

二年に一度開催される日本ホテルバーメンス協会主催『創作カクテルコンペティション第25回大会』で準グランプリを受賞。

私とカクテルとの出会いは、十数年ほど遡ることになります。大学時代、横浜に住んでいた高校時代の友人に飲み誘われて、横濱に出かけていくと、その友人が連れて行ってくれた店は、洒落たBARでした。男二人で飲みに行くのだから、当然居酒屋と決め付けていたのですが、そのBARで友人は気取った感じでオーダーします。高校時代に、一緒にバカをやっていた友人が、大人に見えたし、すこし格好良く感じました。

それから数年後、飲食関係の接客業自体に興味があったため、私はグランドホテル浜松に就職した。グランドホテル時代は、年下の先輩も数多く、皿洗いばかりの辛い日々もありました。しかし、お酒の知識は、周りに負けないという自負がありました。たし、猛烈に練習もしました。そのうち、シェーカーを振るようになり、先輩もできたのですが、その後輩が私に転機をもたらすことになりました。

後輩が自分の腕を伸ばすために、東京で修行したいと言い出したのです。これに私は、疑問

を感じました。確かに東京はこの業界でもレベルが高い。しかし、浜松ではダメなのか？浜松にいたのでは一流のバーテンダーになれないのか？

この思いが、昨年の大会出場へのきっかけとなり、その結果、準優勝させていただきました。コンペに臨んだカクテルの名前は、『アバンチュール(冒険)』。ベースのラム酒にピーチリキュールなどを混ぜ合わせたものです。男性にも女性にも楽しんでいただける味わいに仕上げました。

コンペで準優勝した数ヶ月後、バーの支配人として誘いを受けました。オーナーの「地元浜松を盛り上げていこう」という思いに共感できたため、今『ワルキューレ』でシェーカーを振っています。

『ワルキューレ』とは、北欧神話に登場する戦いの女神、英雄の前に現れる幻想的な恋人です。今夜も西高卒業生の皆様、女神が微笑みますように。



部活報告

陸上部女子

H18中村宝子インターハイ女子二百m優勝・アジア大会銀メダル

平成18年度の全国インターハイは、大阪で開催されました。女子二百mにおいて、中村宝子(三年)は二十三秒四八のタイムで見事優勝しました。この記録は日本歴代三位の好記録であり、さらに日本ジュニア新記録、日本高校新記録の快記録でもあります。スタートから積極的なレースをし、二位以下に大差をつけてのゴールに場内は騒然となり、高校記録の誕生の興奮もあつてしばらくは歓声が絶えませんでした。まさに会場に一瞬の爽やかな風が吹いたかのようでした。



銀メダルに輝いた女子四百mリレーの日本チーム。右から二番目が中村宝子

中村はこの後、八月に北京で開催された世界ジュニア選手権の二百mに出場しましたが、惜しくもあと一步のところで決勝進出を逃しました。

さらに十二月、カタールのドーハで開催された第15回アジア大会にも日本代表として出場しました。得意の二百mに出場し五位入賞、四百mリレーでは第三走者をつとめ、見事銀メダルを獲得しました。

今後の活躍が期待されます。

野球部

26年ぶりの甲子園めざす

卒業生の皆様には、日頃より野球部に対してご声援をいただき御礼申し上げます。

本年は三年生12名、二年生10名、一年生14名の総勢36名で活動しております。中等部野球部より活動を継続しているものが17名、高校からの選手が17名ということでバランスがうまくとれており、お互い競い合いながらも一つになり、うまく相乗効果が生まれております。

ここ数年のように県を代表する選手は残念ながらいませんが、主将の古田大樹を中心にまとまりの点ではどのチームにも

【平成18年度全国インターハイ】
女子 百m 四位 中村宝子
女子二百m 優勝 中村宝子
女子四百m 七位 飯尾 絢
女子四百mリレー 四位 中村宝子
肥田・飯尾・村松・中村
女子最優秀選手 中村宝子
【第61回国民体育大会】
少年女子A百m 二位中村宝子
少年女子A四百m三位飯尾 絢
【第15回アジア大会】
女子四百mリレー 銀メダル
中村宝子(第三走者)
女子二百m 五位 中村宝子



平成19年度 浜松西高野球部

優っております。

夏の静岡県大会では選手とスタッフが丸となり、26年ぶりの甲子園を目指します。

女子テニス部

石田佳菜子総体ベスト16・国体三位

平成18年度は、石田佳菜子(現高三)が、全国高校総体ベスト16、国民体育大会少年女子第三位という輝かしい成績を残してくれました。特に、夏の高校総体では、三回戦で九州地区のチャンピオンと対戦し、9対8という息詰まる接戦を制して、見事全国ベスト16に入ることができました。

また、学校対抗戦においても、新人戦西部大会準優勝、同県大会ベスト8、今年度の高校総体県大会において団体戦第三位に入賞することができました。

中等部剣道部

女子団体東海大会ベスト16

中等部剣道部も部員が増加し、今年度(19年度)男子16名、女子11名、計27名になりました。高校生と密度の濃い合同練習を行う中でアドバイスをもらい、実力を付けて昨年度の夏には、女子団体の部で創部以来初の県大会出場。そして、東海大会ベスト16まで進出しました。

本年度は刺激を受けた下級生が練習を重ね、西部地区新大会で男子団体二位、県大会進出という好成績を収めました。

いよいよ、三年生にとつては最後の夏の大会を七月に控え、さらに厳しい練習の中で修練を



女子テニス部 前列左が石田佳菜子



剣道部女子団体 東海大会ベスト16

【平成18年度の主な試合結果】
石田佳菜子
全国高校総体ベスト16
国民体育大会少年女子第三位
浜名湖国際女子テニス大会出場
重ね、好成績を収められるように精進したいと思います。
応援よろしく願います。

【高等部】

平成18年度クラブ成績一覧表

	静岡県高校総体				高校新人大大会		その他協会・連盟 主催の主な大会
	西部大会	県大会	東海大会	全国大会	西部大会	県大会	
陸上	女子200m 優勝 女子100m 優勝 女子100mH 優勝 女子100mH 2位 女子100mH 3位 女子400mH 2位 女子400mR 優勝 女子1600mR 優勝	女子200m 優勝 女子100m 優勝 女子400m 3位 女子100mH 4位 女子100mH 6位 女子400mH 2位 女子400mR 2位 女子1600mR 優勝 男子400m 4位 男子200m 6位	女子200m 優勝 女子100m 優勝 女子400m 優勝 女子100mH 4位 女子100mH 6位 女子400mH 2位 女子400mR 3位 女子1600mR 優勝	女子200m 優勝 (ジュニア日本新) 女子100m 4位 (県高校新) 女子400m 7位 (県高校新) 女子400mR 5位 (県高校新)	男子やり投げ優勝 女子100mH 優勝 女子400mH 2位 女子400mH 3位 女子400m 3位 女子400m 4位 女子400mR 5位 女子1600mR 2位 女子円盤投げ5位 男子三段跳び6位 女子走幅跳び5位 女子砲丸投げ6位	女子100mH 優勝 女子400mH 優勝 女子1600mR 2位 男子やり投げ4位 女子400m 3位 女子400mR 5位 女子1600mR 2位 女子円盤投げ5位 男子三段跳び6位 女子走幅跳び5位 女子砲丸投げ6位	日本ジュニア 優勝 女子200m 6位 世界ジュニア 4位 女子200m準決勝4位 アジア大会 5位 女子200m 銀メダル (第3走者中村宝子) 国体 2位 女子100m 2位 女子400m 3位
水泳	男子100mBa 6位 男子200mBa 5位 女子200mFr 10位 女子400mR 6位	男子100mBa 11位 男子200mBa 8位 女子200mFr 20位 女子400mR 14位	男子200mBa 14位		女子50mFr 3位 女子100mFr 5位 女子200mFr 6位 女子400mFR 5位 女子400mFR 5位	女子200mFr 9位 女子400mFR 14位 女子400mFR 12位	
野球		1回戦11-4森 2回戦6-16飛龍			1回戦2-7興誠 敗者復活3回戦		
サッカー	ブロック 2位 2位R進出				3次リーグ		全国高校サッカー静岡県予選 1回戦6-2吉原 2回戦0-1清水商
男バレー	1回戦2-0袋井商 2回戦1-2引佐						
男バスケ	9位	ベスト16			5位	ベスト16	
女バスケ	2回戦						北遠バスケ大会2位
男テニス	S 6位	団体2回戦 S ベスト16			S 9位	S ベスト16	
女テニス		団体ベスト8 S 2位 D ベスト8	S ベスト8	S ベスト16	団体 2位 D 12位	団体 ベスト8 S 3位 D 4位	国体 少年女子3位 石田佳菜子
ソフトテニス	8位	1回戦1-3三島			団体7位	1回戦0-3富士宮西	
卓球	2回戦				S ベスト32	S 2回戦	
柔道	男子-60級 2位 男子-66級 3回戦	男子団体戦2回戦 男子-60級2回戦					
剣道	男子団体 9位	男子団体ベスト16			男子団体 5位 女子団体 6位	男子団体ベスト16	
弓道		団体戦出場 準決勝進出					
ボート		男子Dスカル4位 男子Dスカル5位				男子Sスカル3位	

	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
吹奏楽	全日本吹奏楽コンクール西部大会 アンサンブルコンテスト西部大会	銅賞 打楽器6重奏金賞	中部日本吹奏楽コンクール県大会 アンサンブルコンテスト県大会	優秀賞 打楽器6重奏金賞		
百人一首			県高校かるた新人大大会	10位	全国戦域学生かるた大会	Dリーグ団体6位
将棋	西部大会	4位	県大会	出場		
国際文化	英語弁論大会西部大会	1部 3位・5位	英語弁論大会県大会	5位		

【中等部】

	浜松市大会	県大会	東海大会	全国大会	浜松市新人大大会	県新人大大会	その他主な大会
陸上	男子走幅跳 9位 女子走幅跳 9位				女子走幅跳 3位 女子100mH 5位 女子100m 9位	男子800m 13位 女子走幅跳 13位	ジュニアオリンピック 女子走幅跳出場 黒川奈緒
水泳	男子400mFR 8位 男子200Br 9位 男子100Bu 4位 女子200Br 優勝 女子100Br 2位				男子総合 8位 女子200mBr 優勝 女子100mBr 優勝 男子200mBr 2位 男子100mBr 2位		浜松市春季大会 男女総合優勝
野球	2回戦4-11高台				1回戦2-3与進		
サッカー	予選リーグ2位				1回戦1-1浜北北部		
男バスケ	準優勝	準優勝	ベスト8		2回戦		県会長杯 3位
女バスケ	4位	5位			7位		
男テニス		団体3位 S 9位			D 2位 S 2位・5位	D 9位 S 10位	
女テニス		団体 優勝 S 優勝 D 3位		D ベスト16	S 優勝・2位 D 優勝・4位	団体 優勝 S ベスト4独占 D 優勝・2位	東海地区新人戦 団体 3位
ソフトテニス	予選リーグ 3位						
卓球	男子予選リーグ4位 女子予選リーグ2位				女子団体 4位	女子団体ベスト12	カデットの部東海大会 S ベスト32
柔道	男子-55級 2位 男子-66級 5位 男子-90級 5位	男子-66級 2回戦 男子-90級 2回戦					
剣道	女子団体 6位 女子個人 5位	女子団体 5位	女子団体 出場		男子団体 2位	男子団体ベスト16	浜松市スポーツ大会 女子団体優勝

	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
吹奏楽	県吹奏楽コンクール西部大会	銀賞	県アンサンブルコンテスト	木管三重奏 最優秀賞	全日本アンサンブルコンテスト	オーボエ三重奏 金賞
弦楽					TBSこども音楽コンクール	東日本発表会 優秀賞
科学			アイデアロボットコンテスト	県大会出場	日本学生科学賞	リレーション部門 読解工芸賞

イギリス語学

研修を終えて

平成18年7月21日～8月6日
男子12名、女子23名

合計35名参加

研修先 イギリス北部ヨーク
「メルトンカレッジ」

引率教諭 前島寿美江

思うに外国に行つて何が楽しいかという点、人種も言語も異なるもの、ある一定期間「現地人」になれることではないか。観光のような一過性のものではなく、地元のスーパで現地の物を手にし、レジに並び、使い慣れたきた現地通貨を差し出すこと。毎日バスで通学するとして、バスの運転手と笑顔を交わせること。迷子になったらそれを利用し新たな発見をすること。電話をかけること、ティーを楽しむこと。時にはおとなしく引き下がらないで相手に嫌な顔をされても自己主張をすること、等々。言い換えれば、毎日地元で繰り返されているルーティンに自分を置くこと、置けること、が最も楽しい事ではないかと思う。彼らはそれを2週間実行した。積極的に、精力的に、そして自然に。

一見緑の芝生がきれいに見えるメルトンの中庭が、各国の生徒や引率者が捨てるタバコの吸殻だらけなのは何故か。ゴミは分別しないのか。刺青が多いのはなぜか。肥満が多いのはなぜか。生野菜を食べないのはなぜか。同宿学生は夜遅くまで帰らないが何をしているのか。なぜヨーロッパ人は英語を流暢に話せるのか。ヨルダンとイスラエルとの紛争が生々しく感じられるのはなぜか。このような疑問は、日本人として育った自分と相手とを客観的に見ているからこそ生まれるものだ。滞在中「何で？」とよくきかれたが、聞かれるたびに「自分で聞いてみたか？」と応えておいた。

今回語学力不足を実感し、言いたいことの半分も言えなかった、との思いを噛み締めている諸君、ぜひともリベンジしてもらいたい。そして「何で？」と思つたことに答えを見つけて欲しい。(報告書より)



沼倉 昇先生

梅雨だと言うのに、眩しい太陽。茶畑の間の道を抜けて、沼倉先生の勤務先である静岡理工科大学へ訪問させていただきました。新緑がとても綺麗です。開口一番に、「自然環境が豊かな所で、勉強に集中出来ますよ!」と。沼倉先生は、現在、この大学の付属図書館で仕事をされています。

まず、館内の案内をして下さいました。「理科系の本ばかりで、文学作品が少ないんだよね。」先生は国語科で、西高では、「望洋」編集の指導もされています。

沼倉先生は、仙台北部の出身で、静岡には中学の修学旅行の時に初めて来られたとの事。その時に、富士山が見える風光明媚なこの地に憧れ、静岡で教職に就くことになったそうです。西高で勤務されていた頃は、30代前半から40代前半の働き盛り。また、当時の先生方も進学指導に熱心で、学年毎にまとまり、結束力があつたそうです。この西高での11年間の在勤中に、教員として鍛えられたとの事。ま

恩師訪問

た、生徒達も真面目で勉強熱心。自分の担任から卒業生を5人出した事は、誇りに思っているとの事。先生の、教育者としての熱い思いが、伝わってきました。

「当時の思い出は、なんと言つても、昭和56年の夏の甲子園出場だね。応援団の担当もしたね。早朝・放課後の課外授業を、よくやつたよ。西山台から遠く太平洋を眺めると、広々とした気持ちになったね。校歌は、2番の「清き尊き若き日の 誇りたけく睦みゆく」の部分が、特に好きです。ここを声いっばいに歌うと、青春を実感し、西高生の生活と重なつていたと思う。女子の夏服は、さわやかだったね。今も、あの制服なのかな?」と、尽きないようです。

そして、取材を終えて帰る私達に、法多山の厄除け団子があつた。沼倉先生の職場は、法多山の近く。高40回の私達を受け持つて下さった時には、受験前に、担任であつた39HRの生徒全員にこの団子が配られました。

駐車場では、ウグイスの鳴き声。「鳴き方が、上手になつてきたなあ」そう呟いた先生の温かい眼差しが、当時と変わらないまま。

沼倉先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。今度、ゆっくりと図書館の本を見に行きたいと思ひます。

(高40回 山本優美・西岡愛香)

「平成20年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中 等 部	高 等 部
募集定員	160名(4学級)	40名程度(1学級)
選抜資料	総合適正検査、作文、面接、調査書等	調査書、総合問題、面接
実施期日	平成20年1月12日(土)総合適性検査、作文	平成20年3月5日(水) 学力検査
	平成20年1月13日(日)面接	平成20年3月6日(木) 面接等

*お知り合いの方々にお知らせください。

平成18年度入試結果概要

受験人数の上では大学全入時代を迎え、大学が合格し易くなってきていますが、難関大はまだ非常に厳しい状態にあります。昨年と比較しセンター試験が難しくなったのですが、本校の生徒は志望を高く持ち果敢に挑戦をしています。一人ひとりが将来を見据えた進路選択をした結果であると考えます。

入試合格状況

	18年度			17年度			16年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国 公 立 大	95	14	109	83	22	105	114	38	152
私 立 四 大	327	69	396	371	114	485	386	134	520
管 外 大 学	1	0	1	0	2	2	0	0	0
各種専門学校	2	0	2	2	1	3	5	0	5

私立大学名 (主要大学)	平成18年度			平成17年度			平成16年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
青山学院大	2	2	4	3	5	8	6	4	10
学習院大	1	0	1	1	1	2	0	0	0
北里大	0	1	1	2	2	4	3	3	6
慶応大	2	2	4	3	3	6	3	4	7
国学院大	0	0	0	0	0	0	5	1	6
国際基督教大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芝浦工大	11	3	14	3	1	4	8	5	13
上智大	0	1	1	0	1	1	0	3	3
順天堂大	0	0	0	0	0	0	3	0	3
専修大	0	1	1	7	1	8	4	2	6
成城大	0	0	0	8	2	10	1	0	1
中央大	12	3	15	3	4	7	4	11	15
津田塾大	0	1	1	1	0	1	0	0	0
工学院	6	0	6	1	1	2	2	0	2
東京女子大	4	0	4	2	0	2	2	0	2
東京農大	7	2	9	6	7	13	8	1	9
東京理大	8	6	14	14	5	19	16	13	29
東洋大	6	0	6	1	2	3	0	0	0
日本大	5	0	5	12	7	19	15	6	21
日本女子大	3	0	3	5	0	5	5	2	7
日本獣医畜産大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
法政大	10	4	14	11	9	20	8	5	13
武蔵工大	3	0	3	6	0	6	7	1	8
明治大	15	1	16	8	4	12	16	5	21
明治学院大	3	1	4	9	5	14	4	0	4
明治薬科大	1	0	1	1	0	1	1	0	1
文教大	1	0	1	2	1	3	0	1	1
昭和女子大	0	0	0	2	0	2	0	0	0
立教大	6	3	9	10	0	10	4	2	6
早稲田大	3	1	4	9	6	15	3	6	9
神奈川大	3	0	3	15	1	16	7	3	10
常葉学園大	5	0	5	5	0	5	6	1	7
静岡文化芸大	9	0	9	9	0	9	11	1	12
聖隷クリスト大	6	1	7	3	0	3	14	2	16
愛知大	11	1	12	11	0	11	10	0	10
愛知医大	0	1	1	1	0	1	2	0	2
愛知学院大	5	0	5	0	0	0	0	0	0
中京大	10	1	11	11	0	11	9	0	9
南山大	7	1	8	14	1	15	7	0	7
名城大	16	2	18	20	2	22	22	2	24
名古屋女子大	3	1	4	2	0	2	2	0	2
藤田保健衛生大	0	2	2	0	0	0	6	0	6
相山女学園大	0	0	0	3	0	3	0	0	0
金沢工業大	3	0	3	1	0	1	3	1	4
日本福祉大	0	0	0	0	0	0	8	0	8
京都外大	0	0	0	1	0	1	4	0	4
京都薬科大	0	0	0	1	2	3	0	0	0
京都産大	2	0	2	3	0	3	0	0	0
京都女子大	3	0	3	2	0	2	2	0	2
同志社大	8	3	11	8	4	12	3	2	5
龍谷大	6	0	6	3	0	3	3	0	3
同志社女子大	10	0	10	2	0	2	4	1	5
立命館大	27	9	36	41	10	51	31	8	39
関西大	13	2	15	6	7	13	7	5	12
関西外大	1	0	1	0	1	1	3	0	3
関西学院大	1	0	1	5	1	6	0	4	4
甲南大	0	0	0	0	0	0	4	1	5
創価大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
近畿大	1	1	2	5	1	6	10	1	11
摂南大	0	1	1	3	0	3	1	0	1
私立計	327	69	396	371	114	485	386	134	520

国公立大学名 (管外大学を含む)	平成18年度			平成17年度			平成16年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
帯広畜産大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
北海道大	2	0	2	0	1	1	1	2	3
東北大	0	1	1	2	0	2	1	3	4
福島大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
筑波大	1	0	1	4	1	5	3	0	3
茨城大	3	0	3	2	0	2	0	0	0
宇都宮大	0	0	0	0	1	1	1	0	1
群馬大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
埼玉大	3	0	3	1	0	1	3	0	3
千葉大	2	1	3	6	0	6	3	3	6
お茶の水女子大	0	0	0	1	0	1	0	1	1
東京大	0	0	0	0	1	1	0	2	2
東京外大	2	0	2	1	0	1	0	0	0
東京学芸大	2	1	3	1	1	2	0	0	0
東京医科歯科大	0	0	0	0	1	1	0	1	1
東京海洋大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
東京工業大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
東京農工大	2	0	2	1	0	1	0	1	1
一橋大	0	0	0	1	0	1	0	1	1
電気通信大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
横浜国立大	2	2	4	3	0	3	2	0	2
新潟大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
金沢大	5	1	6	4	1	5	2	0	2
福井大	0	0	0	1	1	2	0	0	0
富山大	1	1	2	1	0	1	1	1	2
山梨大	1	0	1	1	0	1	2	0	2
信州大	7	1	8	3	0	3	4	1	5
岐阜大	1	0	1	0	1	1	1	1	2
静岡大	14	2	16	6	2	8	24	3	27
浜松医大	3	0	3	1	0	1	2	0	2
名古屋工大	2	0	2	0	0	0	5	2	7
愛知教育大	0	0	0	1	0	1	3	0	3
名古屋大	4	0	4	5	0	5	9	2	11
三重大	1	1	2	3	0	3	2	0	2
滋賀医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0
滋賀大	3	0	3	0	0	0	1	0	1
和歌山大	0	0	0	1	0	1	1	0	0
京都大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
大阪外大	0	0	0	1	0	1	1	1	2
大阪大	0	0	0	0	1	1	2	0	2
大阪教育大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
神戸大	0	1	1	2	1	3	0	0	0
奈良教育大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良女子大	2	0	2	1	0	1	0	0	0
鳥取大	0	0	0	0	0	0	2	2	4
岡山大	2	0	2	1	0	1	2	0	2
広島大	1	0	1	0	1	1	3	0	3
高知大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
香川大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
九州大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
長崎大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
鹿児島大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
琉球大	0	0	0	1	1	2	0	0	0
秋田県立大	1	0	1	0	0	0	1	0	1
宮城大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
首都大東京	4	1	5	4	0	4	3	0	3
横浜国立大	1	0	1	1	0	1	2	1	3
高崎経済大	2	0	2	3	0	3	0	0	0
前橋工科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0
都留文科大	2	0	2	2	0	2	1	0	1
静岡県立大	5	1	6	6	2	8	11	2	13
愛知県立大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
名古屋市立大	0	0	0	1	0	1	3	0	3
長野県立看護大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
三重県立看護大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
京都府立大	0	0	0	2	0	2	0	0	0
大阪府立大	1	0	1	0	0	0	1	2	3
岡山県立大	0	0	0	1	1	2	0	0	0
高知女子大	1	0	1	0	0	0	0	1	1
航空保安大学校	1	0	1	0	1	1	0	0	0
防衛大	0	0	0	0	1	1	0	0	0
国公立(管外) 計	96	14	110	83	22	105	114	38	152

西山賞表彰式

2月28日同窓会入会式に先立ち、西山賞表彰式が行われた。今年度の受賞者は昨年に続き、スポーツ部門で二人。陸上競技で輝かしい成績を取めた中村宝子さんと飯尾絢さんに贈られた。



西山賞を受賞する飯尾絢さん(写真左)と中村宝子さん(写真右)

第3回同窓会講演会

11月20日に西高OBで、駒沢大学野球部前監督の太田誠氏(高7回)を講師に迎え、第3回同窓会講演会が開催された。

同窓会長のことは、創立80周年

〈受賞の言葉〉中村宝子さん
受賞ありがとうございます。大学ではさらに活躍できるようにがんばります。
〈受賞の言葉〉飯尾絢さん
西山賞の受賞はとてもうれしです。大学でも陸上競技で活躍したいと思っています。

トピックス

を記念して、本校の活躍する卒業生に講師をお願いしている。貴重な人生経験を将来に役立てていただきたい。

太田監督の講演内容

自分の人生で西高だけは入りたい学校で一生懸命勉強したが、その後の駒沢大学も、就職先(現NTT)も、望まない進路だった。でもかえってそれが負けず嫌いの性格に火をつけ、自分を大きく育ててくれた。

人に勝つためには、「小物意識」を持つ事が大切で、小さな所を見逃さない、細やかな心配りができる事が一番大事。おおよそでは成功できない。それでも負けてしまった時は「良い敗者」になる事。負けを認め、それをバネに強い精神力で努力できる事。神経・肉体は運動するので、弱いことばを使わない。弱音をはかず夢中になって頑張る。最後には自分ももちろん、家族、友人、自然、この世、全てを愛せる人間に成長して行つてほしいと結んだ。



新刊紹介

同窓生の著作です

『最良のがん治療道案内』より適正な判断を導くためのヒント集

最良の治療はどうしたら受けられるのか? 腫瘍内科の第一人者が日本最高の医療チームを結成。このチームが迷える患者の道しるべに。



渡辺 亨 (高26回)

『鋼鉄の白兔騎士団Ⅳ』
中世ヨーロッパを下敷きにした異世界で繰り広げられる乙女騎士団の戦記。

『火魅子炎戦記8』
古代和風ファンタジー。
邪馬台国・卑弥呼を連想させる古代ヘタイトトリップした少年の闘い物語。



舞阪 洸 (服部隆彦・高27回)

まんが『死闘! 恐竜王国』

NHKスペシャル「恐竜VSほ乳類1億5千万年の戦い」を漫画化。支配者として繁栄を極める恐竜のかけで我々の祖先・哺乳類の過酷な戦いが続く! 進化の軌跡は、いかなるドラマを用意したのか? 原作者の最新著書に、NHK「まんが版」『その時歴史が動いた』。



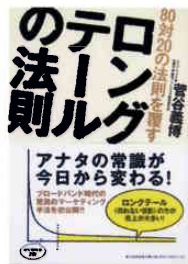
小林たつよし (高26回)

『二億百万光年先に住むウサギ』
湘南を舞台に描くかぎりなくイノセントな青春ストーリー。



那須田 淳 (高36回)

『ロングテールの法則』
ネット業界で話題の「ロングテール現象」を解説した本邦初の本。



菅谷 義博 (高40回)

西山台編集後記

◆同窓会会議室正面に2枚の絵がかかっているのを知っていますか? 我が西高校歌の「銀くもりなき大洋や」と「東天輝よう芙蓉峰」の描かれた絵だそうです。是非観賞してみてください。素晴らしい絵で気持ちが引き締まります。

◆同窓会活動の活性化を目指し執行部では今活発な論議が交わされています。編集委員会も後方支援すべく、今後も同窓会のニュースをお伝えしていきます。

◆10代 気の合う友達が一番
20代 趣味の合う友達ができ
30代 子供の親同士として
40代 地域の友達も大切に
50代 昔の同級生と、歳月を越えて。それぞれの年代の新しい出会いこれからも楽しみです。

同窓会報編集委員

左右田丈夫(中19回)
近藤 哲哉(高9回)
伊藤多恵子(高24回)
(同窓会副会長)
佐野 元恵(高25回)
(編集部会計)
伊藤 陽子(高26回)
(編集委員長)
山下 哲広(高34回)
岩淵 千江(高39回)
山本 優美(高40回)